

真宗大谷派
東本願寺
shinshu Otani-ja

京都 真宗本廟(東本願寺)

春の法要

2026年 4月1日(水) ▶ 3日(金)



| | |
|------------------------|----|
| もくじ | |
| 春の法要にあたって 宗務総長 木越 渉 | 1 |
| 4月1日(水) 日程 | 2 |
| 師徳奉讃法要・親鸞聖人御誕生会 | |
| 親鸞聖人御誕生会 (音楽法要) 表白 | 4 |
| 4月2日(木) 日程 | 6 |
| 全戦没者追弔法会 | |
| 全戦没者追弔法会 開催にあたって | 7 |
| 追弔の偈 | 8 |
| 全戦没者追弔法会 表白 | 10 |
| 4月3日(金) 日程 | 11 |
| 相続講員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会 | |
| 帰敬式について | 12 |
| 各種催事のご案内 | 13 |

法要・記念講演のライブ配信について

期間中3日間の法要および記念講演すべてをライブ配信しますので、ぜひご覧ください。

配信時間は、各日程のページをご確認ください。▶ の箇所を配信します。

視聴方法

視聴されたい法要・記念講演の時間になりましたら「東本願寺公式 YouTube チャンネル」にアクセスしてください。

東本願寺公式YouTube

検索



※配信状況・受信状況により、配信が途切れる場合があります。その際はしばらく経った後に再度、読み込みを行ってください。

春の法要にあたって

世界に響け念仏の声

宗祖親鸞聖人の御真影まします京都の町が、桜の花で儂くも鮮やかに彩られる今日。「春の法要」にようこそお参りくださいました。



宗務総長
木越 渉

歴史を紐解きますと、宗祖親鸞聖人御誕生八百年に向かう一九六二（昭和三十七）年、一般の参拝者をお迎える様々な取り組みを交えて行われたものがこの法要の源流です。

それから六十余年を経た現在の境内は、海外の方々の参拝も多く、国籍や人種を超えて如来の本願に出遇う場となっています。

人間の歴史を離れて念仏の歴史はありません。境内南側には、飛驒の地で念仏の歴史を眺め続けてきた「莊川桜」と、「非核非戦」の願いを受け「ナガサキ」から昨年植樹された「嘉代子桜」が並んでいます。人間を見つめ続けてきたこの二つの桜から、人間のはからいを超えて私を照らし出す浄土の世界が教えられているような気がします。

浄土は、一人ひとりの差異を認め、決して代わることのできない存在として包みこむ絶対平等の世界。浄土に触れ、人間の愚かさを知らされた親鸞聖人は、自らを「愚禿」と名告られました。我々は、聖人が出遇われたその大地に頭を下げ歩む他ないのです。

桜の季節、様々なご縁によりお参りされた皆様と共に法要を勤め、念仏申したいと思えます。

7時

晨朝(同朋唱和)【約40分】
御文・法話

阿弥陀堂・御影堂

9時30分

法話 藤場芳子氏(金沢教区第3上組常讀寺副住職)

10時

【引続】
師徳奉讃法要(楽)【約1時間】
帰敬式(詳しくは12頁をご覧ください)

阿弥陀堂
御影堂

13時20分

親鸞聖人御誕生会 記念講演

【約30分】

御影堂

講師 酒井義一氏

(東京教区東京5組存明寺住職)
青少幼年センター研究員



講話 「音を通して親鸞さまの心にふれる」

14時

親鸞聖人御誕生会(音楽法要)【約50分】

- 【指揮】 鈴木勇樹氏(同朋高等学校音楽科主任教諭)
- 【電子オルガン】 魯 あす香氏 (ヤマハ音楽教育システム講師)
- 【ティンパニ】 高藤 摩紀氏(名古屋音楽大学教授)
- 【合唱】 真宗大谷派合唱連盟他



紹介動画

師徳奉讃法要

親鸞聖人が讃嘆しておられる聖徳太子・七高僧をはじめ、今日の私たちにまで本願念仏のみ教えを伝えてくださった、すべての師主知識の恩徳を奉讃する法要をお勧めいたします。

親鸞聖人は、日本で初めて仏教を広められた聖徳太子を「和国の教主」(日本のお釈迦さま)と讃え、「皇太子聖徳奉讃」と題した和讃などを二百首近く制作されました。

また七高僧とは、インドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)の七人の高僧をいい、親鸞聖人は「正信偈」においてその遺徳を讃え、聖徳太子同様、和讃(「高僧和讃」)を制作し讃嘆されています。

親鸞聖人御誕生会 (音楽法要)

宗祖親鸞聖人の御誕生を縁として、私が「今、ここに生きている」その感動を、音の荘厳をもって表現する音楽法要をお勧めいたします。法要曲は、一九六一年に宗祖親鸞聖人七百回御遠忌が厳修された際、「近代音楽で、だれでも参加できる音楽法要を」という願いのもと、松下眞一氏によって作曲されました。

混声四部合唱の重厚な歌声が御影堂内に響きます。

親鸞聖人御誕生会(音楽法要)次第

- ① 入堂
 - ◆電子オルガン奏楽により、内陣・余間・外陣出仕者が入堂します。
- ② 讃歌(浄土和讃)
 - 一「一のはなのなかよりは 三十八百千億の 光明でらしてほがらかに いたらぬところはさらになし」
 - ◆合唱団により、混声合唱でうたわれます。
- ③ 供灯・供華(浄土和讃)
 - 智慧の光明はかりなし 有量の諸相ごとごとく 光暎かむらぬものはなし 眞実明に帰命せよ
 - ◆テノール独唱に続き、混声合唱でうたわれ、外陣に 供灯・供華されます。
- ④ 導師入堂
- ⑤ 導師焼香
 - ◆電子オルガン奏楽により、導師が入堂し、焼香します。
- ⑥ 総礼
 - ◆導師焼香の後、一同合掌します。
- ⑦ 三帰依(パーリ文)
 - ブツダン サラナン ガツチャーミ
 - タンマン サラナン ガツチャーミ
 - サンガン サラナン ガツチャーミ
 - ◆導唱に続いて、一同復唱いたします。
 - 合唱団は混声合唱でうたいます。
- ⑧ 表白(4〜5頁をご覧ください)
- ⑨ 正信偈(真読)
 - ◆一同唱和いたします。
- ⑩ 讃歌(高僧和讃)
 - 無碍光の利益より 威徳広大の信のえて かならず煩惱のこおりとけ すなわち菩提のみずとなる 罪障功徳の体となる
 - こおりとみずのごとくにて こそりおおきにみずおとし ざわりおおきに徳おとし
 - ◆テノール独唱に続き、混声合唱でうたわれます。
- ⑪ 念仏讃 南無阿弥陀仏
- ⑫ 総礼
 - ◆一同合掌します。
- ⑬ 恩徳讃(正像末和讃)
 - 如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし 師主知識の恩徳も ほねをくだきても謝すべし
 - ◆斉唱いたします。合唱団は混声合唱でうたいます。
- ⑭ 導師退堂
 - ◆電子オルガン奏楽により、導師が退堂します。
- ⑮ 退堂
 - ◆電子オルガン奏楽により、内陣・余間・外陣出仕者が退堂します。

一切の三宝、参会の同朋の皆さまに申し上げます。本日ここに宗祖親鸞聖人の御誕生会を、お勤めいたします。

そもそも人間とは、釈尊が、「一切皆苦」と説かれたこの「娑婆界」すなわち「忍ぶべき所」に生まれ出たものです。しかし、そこに「天上天下唯我独尊」、すなわち、「このわたくしは、ただ一人であって、尊いものとなるのだ」という、すべての衆生の誕生に通ずる願いを示し、仏と成るという道を明らかにしてくださいました。それが仏の光に余すところなく照らされること、それを「南無阿弥陀仏」という言葉であらわしてくださいました。

宗祖親鸞聖人は、そこに真向かい、わたくしたちはこの土において、仏に救われる者となるのが仏道の第一歩だと明らかにされました。どれほど教えを聞いても、自分の思いのなかで救いを考え、仏法から離れていく姿、それが仏の光に余すところなく照らされること、それを「南無阿弥陀仏」という言葉であらわしてくださいました。

人と生まれたことの意味をたずねる大事な出発点であり、その道しるべとなるお念仏をお示しくくださった宗祖親鸞聖人の御誕生を慶び、法要を厳修いたします。伏して願い申し上げます。一切の三宝の御照護を請い、この音楽で荘厳された法要の願いと響きが、広く、そして深く十方をゆるがし、一切の衆生に届かんことを。

二〇二六年四月一日 釈修如、敬って申し上げます。

7時

晨朝(同朋唱和)【約40分】
御文・法話

阿弥陀堂・御影堂

14時

シンポジウム【約1時間半】

しんらん交流館大谷ホール

9時30分

全戦没者追弔法会

御影堂

テーマ「日々の暮らしに紡ぐ念仏者の平和運動」

開会の挨拶 宗務総長 木越 渉

「追弔の偈」朗読(8〜9頁をご覧ください)

大谷 あすな氏・猫本 冠氏・帯広大谷高等学校放送局員



10時

法要(楽)【約1時間】

※表白(10頁をご覧ください)

11時20分

記念講演【約1時間】

講師 蓮岡 修氏

(京都教区出雲組大乗寺衆徒
絵本屋さんだあらんど店主)



講題 「二隅を照らす―小さな種をまくとき―」

閉会の挨拶

帰敬式(詳しくは12頁をご覧ください)



紹介動画

「非戦・平和」展
期間 3月27日(金)
〜4月19日(日)
時間 9時〜16時
会場 参拝接待所
ギャラリー1階



テーマ
「伝える、受け取る、つなぐ」
「いまを生きる私たちのことばで」
帯広大谷高等学校放送局が制作した
平和に関する映像作品の上映後、世代
を超えて「非戦平和」の思いを語りあ
います。
パネリスト 蓮岡 修氏
大谷あすな氏
コーディネーター
梶 哲也(教学研究所助手)

全戦没者追弔法会 開催にあたって

テーマ「日々の暮らしに紡ぐ念仏者の平和運動」

かつて私たちの宗門は戦争に積極的に協力しました。それは、戦争とは何たるかを知ろうとせず、また仏教徒が「殺してはならない、殺させてはならない」という仏の教えに背いた過ちでした。そのことを恥じ、一九八七年より全戦没者追弔法会が勤まってきました。

日本が関わったか否かを問わず、人類の起こしてきたあらゆる戦争、今まさに広がる戦火のもとで命をなくされている世界中の方々という意味が、「全」には込められています。また、私たちの宗門の過ちを忘れず、あらためて教えの前に立つ思いを「法」に込めて、今年もこの法会を厳修いたします。

初めてこの法会が勤まるにあたり、古賀制二宗務総長(当時)は戦争の防止に努力すると宣言し、「日々の暮らしがそのまま平和運動であるような念仏者の生活実践に向かって、今からその歩みを始めます」と述べました。さらに私たちの宗門は、不戦決議(一九九五年)、非戦決議(二〇一五年、二〇二二年)、非核非戦決議(二〇二五年)といった声明を公表し、過ちを繰り返さない旨を表明してきました。

依然として、武力を戦争の抑止力とする現状があるなかで、これまでの法会では、対立する相手を敵として見ず、一人の人間として関わっていく非暴力・不服従の抵抗こそが、念仏者にとつての平和運動であることを学びました。

念仏者一人ひとりの生活のなかに見いだされる平和を集めながら、それを世界の平和へとつなげていく——今年の法会では、私たちの日々の暮らしに紡ぐ平和運動とはいかなる実践であるのかを、ともに考えてまいります。



非核非戦決議 2025



不戦決議1995
非戦決議2015
非戦決議2022

「追弔の偈」は、全戦没者追弔法会の願いを「戦争にいのち奪われたあなた方よ」と題し、高史明氏（作家）に散文詩の形で表現いただいたもので、1988年から毎年朗読されています。発表当時の『真宗』誌（1988年2月号）には、高史明氏から「死者は怨みを言わない。ただ無限の深みから、私たちをみつめる。見つめられている私たちが生者として何を願い何をなすべきかは、すでに明らかである。死者の無言の願いに答えていく方向こそ、私たちの未来へ通じる道がある」との言葉が寄せられています。

ついちょう うた
追弔の偈

戦争にいのち奪われたあなた方よ

高史明 作詞

清らかなる光り
舞い輝くとき 音もなく
世界の海のごこ かしこから
起き 立ち上がる
あなた方。

清らかなる光り
舞い輝くとき 音もなく
世界の大地のごこ かしこから
起き 立ち上がる
あなた方。

蒼ざめた地の底は揺れ
地の慟哭がわき上がる。

戦争にいのち
奪われたあなた方よ。
あなた方がいま
その至純なる眼のうちに映し
とられているものは 何か。

息き絶えなるとするとき
なぜ と叫んだあなた

もの言わぬあなた方よ。
わたしたちはいま まっすぐに
見つめられる あなた方に。
無明に酔いしれているわたしたち
罪に罪を 重ねんとしているわたしたち。
あなた方の
深い沈黙からの眼差しに
わたしたちはいま まっすぐに
見つめられる。
何をなすべきか わたしたちは。
いのち奪われたあなた方が
いのち奪われてなお
生きとし生けるもののいのちを
見守らんとしているとき。
蒼ざめた耳底に
あなた方の澄みきった声が聞こえる。
あなた方の声。
いのちの声。
その声。
なむあみだぶつ

息き絶えなるとするとき
お母さん と叫んだあなた
息き絶えなるとするとき
無言のまま ただ
蒼天を見上げるだけであつたあなた。
あなたの虚ろなる眼が いまはの際に
映しとつたものは 何か。

天空に慟哭が満ちわたる。
姿なきあなた方よ。
あなた方はいま
大なる光輪のもとに集われた。
石が哭く そこに。
草が哭く そこに。
波が哭く そこに。
空が哭く そこに。

あなた方が まっすぐに
見つめようとするのは 人間。
その昔 すでにして
「罪悪深重・煩惱熾盛」と
呼ばれていた人間。

人間が 自然の主人に
なろうとしたことは おのれの無明に

あなた方は すでにして
数知れない悲しみを
堪えてきたというのに
なお 人間の悲しみを
悲しもうとされるのか。
打ち震える悲しみ
切り裂かれた天空に
一滴の涙が光る。
姿なき方々よ。
全世界の 数知れない仏さまよ。
いまこそ わたしたちは
あなた方にお願いしたい。
大なる光輪のもとに集られたあなた方
仏さまよ。
生きとし生けるものの
いのちを
絶え間なく称えられるあなた方
仏さまよ。
真実の智慧をもって
世界の平和を願われるあなた方
仏さまよ。

火を放つことであつた。
姿なきあなた方よ。
あなた方が いま静かに
見つめておられるのは
そのどす黒い無明の炎であるのか。

炎と化した無明は
西風につて 地球を一巡し
全世界に黒炎の嵐を呼び起こした。
火焰にのまれた大地。
くり返し焼かれた大地。

炎はさらなる黒炎を呼び
うねり狂い 押し合い
返し合い 燃え重なり
生きとし生けるもののいのちを
呑み
いつそつ燃え盛り
海を沸騰させた。

ついに 天空を切り裂いた。

戦争に正義という名の
冠をかぶせたのは 誰か。
原子爆弾を爆発させた人間。

わたしたちは いまこそ
あなた方を称えよう。
あなた方は あなた方の願いを
わたしたちが わたしたちの
願いとすることを許し下さるか。
わたしたちはいま わたしたちの
悲しみを自らの悲しみとして下さる
あなた方とともに
仏さまよ
いのちの声をいただごう。
なむあみだぶつ
永遠なるいのちよ 光栄あれ。
仏さまとともにある平和よ
永遠なれ。
なむあみだぶつ
なむあみだぶつ
なむ



表白

全戦没者追弔法会

謹んで阿弥陀如来、宗祖親鸞聖人、三世十方の諸仏如来、ならびに一切衆生に申し上げます。

本日ここに、親しく宗祖親鸞聖人のまえに坐すことを得て、法との出遇いを慶喜び、如来の本願に知らしめられた宗門の罪に向き合い、全戦没者追弔法会を厳修いたします。

かつて私たちの宗門は、戦争とは何なのかを知ることもなく、仏の教えに背き、みずから戦争に荷担して、多くの人のいのちを奪いました。この真宗大谷派の罪をいまあらためて、御仏とすべての戦争によって奪われたいのちに懺悔いたします。

仏に煩惱をそなえた凡夫と言いついて、同じ罪を繰り返しかねない私たちであるゆえに、戦争によって失われるいのちのない社会を実現するための道を明らかにし、念仏者として「同朋社会」の顕現に努めてまいります。

われら真宗門徒は、ひとえに、この身とその無明の闇を照らす仏の教えにしたがい、生活の刻一刻を非戦平和の実践に尽くすことを誓います。

二〇二六年四月二日 釈修如、敬って申し上げます。

7時 晨朝(同朋唱和)【約40分】

阿弥陀堂・御影堂

御文・法話

10時20分

法話 佐賀枝 立氏(富山教区第12組榮明寺住職)

11時

相続講員物故者追弔会兼
帰敬式受式物故者追弔会(楽)

【約1時間】

御影堂

(引続) 帰敬式(詳しくは12頁をご覧ください)

ご懇志のお願い

真宗本廟(東本願寺)は、親鸞聖人の教えに縁ある方々からの尊いご懇志によって成り立っております。

このたびの春の法要というご勝縁に際し、仏法を確かめる場が今後とも維持され、念仏のみ教えを次代へと相続していくためにも、ご懇志をお運びいただきますようお願いいたします。



ご懇志をご進納いただきました方へは記念品を進呈いたします。※写真の品は御影堂門に装飾されている「獅子」をモチーフにした「栞」です。

相続講とは

「相続講」は、宗祖親鸞聖人の教えを聴聞し、お念仏の信心を正しく伝えていくための教えの相続(法義相続)と、聞法の根本道場である真宗本廟の維持(本廟護持)とをせずにはおれないとの深い願いによって、1885(明治18)年に創設されました。「相続講」という名称は、真宗再興の祖である蓮如上人の教化の歩みの中で生まれた聞法の集いである「お講」に由来し、仏法を聴聞して信心を獲ることを主とした集まり(僧伽)を表しています。

1880(明治13)年には、蛤御門の変(禁門の変)で焼失した御影堂・阿弥陀堂等を再建する大事業が始まりましたが、そこには数知れないほど多くの真宗門徒の本廟護持を願うご懇念が、この相続講制度により一つに結集し、15年をかけて完遂されました。以来、脈々とその精神は受け継がれ、相続講によるお一人おひとりのご懇念は、宗門存続の意義である同朋社会実現のための基盤となり、聞法と伝道、そして財務に大きな役割を果たしています。

〈各種催事のご案内〉

春の法要期間中、真宗本廟境内では、さまざまな催しを行います。
皆様のお越しをお待ちしております。

真宗本廟（東本願寺）花まつり

お釈迦さまの生誕をお祝いし、御影堂門下に花御堂を設置いたします。
花御堂に安置されている誕生仏に甘茶をかけてご参拝ください。

期 間 4月1日（水）～8日（水）

時 間 9時～16時30分 ※8日は15時まで

場 所 御影堂門下



大谷祖廟花まつり

大谷祖廟は宗祖親鸞聖人の御廟（お墓所）です。
以下の期間「花まつり」を開催しておりますので、
ぜひご参拝ください。

期 間 4月1日（水）～8日（水）

時 間 9時～15時

場 所 大谷祖廟

※期間中、スタンプラリーやぬり絵など
イベントを開催しています。



大谷祖廟への
アクセス



納骨・永代経の
申し込み



4月5日（日）は「こどもの集い」を開催します。

時 間 11時30分～12時30分

内 容 おつとめ・おはなし・缶バッジづくり 鸞恩くんと写真撮影など

帰敬式

帰敬式は「おかみそり」ともいわれ、仏弟子となる大切な儀式です。
帰敬式では、剃刀の儀を受け、仏・法・僧の三宝に帰依することを誓います。そして、お一人お一人に法名が授与されます。
仏・法・僧の三宝とは、「仏」はお釈迦さまをはじめとする真実に目覚めた人をいい、「法」はその仏が説かれた阿弥陀如来の本願を表します。そして「僧」は僧伽ともいい、その法に依って生きる人々の集まりのことです。その仏・法・僧は宝であると表現しています。
また、お釈迦さまの「釈」の字が冠せられた二字の法名は、お釈迦さまの弟子（仏弟子）としてこれからの人生を歩んでいく名告りです。
親鸞聖人は「愚禿積親鸞」と名告り、生涯を通して三宝に帰依するお念仏の生活を歩まれました。帰敬式は、お念仏の生活をはじめめる真宗門徒としての出発式です。
この機会にぜひ受式ください。



「2026年 春の法要」中の帰敬式日程

4月1日（水）「師徳奉讃法要」後

2日（木）「全戦没者追弔法会記念講演」後

3日（金）「相続請員物故者追弔会兼帰敬式受式物故者追弔会」後

※3日は、大谷 暢 裕門首が執行されます。

礼 金 1万円（20歳以下は5千円）

受 付 参拝接待所

1日・2日は 9時～9時30分

3日は 9時～10時10分

【お問い合わせ】本廟部参拝接待所

TEL 075-371-9210 FAX 075-371-9204（9時～17時）

〈各種催事のご案内〉

しょうせいえん かゆぜん 春の涉成園と粥膳

真宗門徒が大切にしてきた「お斎とき」を通して仏縁を結んでいただくことを願い、「春の涉成園と粥膳」を開催します。真宗本廟におそなえしたお仏供（お仏飯）のおさがりを用いて調理した「菜の花粥」をはじめ、炊き合わせ、東本願寺境内でとれた梅を使った梅干しなどを、朱塗りの器に盛り付けた本格的なお膳をご用意いたします。



期 日 4月1日（水）～3日（金）
① 11時40分～/
② 12時40分～（各回定員80名）

会 場 涉成園 閻風亭

冥加金 3,000円（庭園維持寄付金込）

申込方法 電話予約制 075-371-9210 ※事前申込は前日16時まで
※定員になり次第申込締切 ※空席がある場合に限り当日券あり
※冥加金のお納め・当日券のお求めは、涉成園内「粥膳受付」まで

おもてなしの舟旅特別ツアー

東本願寺僧侶の案内のもと、「舟旅」と「呈茶ていちゃ」または「粥膳」を通して、江戸時代の「おもてなし」を体験する少人数制の特別ツアーです。桜の季節、名勝・涉成園にて、非日常のひとときをお過ごしください。



開催期間 3月28日（土）～4月5日（日）
※3月30日（月）・31日（火）を除く

会 場 涉成園（枳殻邸）

定 員 各回5名（乗船最大定員）

ツアー内容 庭園解説／舟旅体験／非公開茶室にて呈茶または粥膳／庭園の自由散策（所要時間：約45分＋自由散策）

申込方法 WEB予約制
※予約フォームまたは宗派公式ウェブサイトよりご予約ください

日程・参加費

【呈茶付きツアー】

実施日：3月28日（土）・29日（日）／4月4日（土）・5日（日）
時 間：10:00／11:00／13:00／14:00／15:00
参加費：6,000円（庭園維持寄付金込）

【粥膳付きツアー】

実施日：4月1日（水）・2日（木）・3日（金）
時 間：10:45／11:30／12:15／13:00／13:45
参加費：8,500円（庭園維持寄付金込）



予約フォーム 涉成園ウェブサイト

〈各種催事のご案内〉

きょうかいし とくし
真宗大谷派 教諭師・篤志面接委員会 企画

刑務所作業製品展示即売会・パネル展

教諭師や篤志面接委員は全国の刑務所や少年院などの施設に收容された人たちと対話し、更生の道を共に歩いていく活動を行っています。

現在、真宗大谷派所属の教諭師、篤志面接委員等は真宗の教えに基づく教諭の充実と矯正事業への協力を目的に活動しており、その活動の一環として刑務所作業製品の展示・即売会とその取り組みについて紹介するパネル展を行います。売上の一部は犯罪被害者支援団体の活動に助成します。

日 時 4月1日（水）～3日（金）
9時～16時（3日は12時まで）

会 場 境内白洲テント



おてらおやつクラブ in 東本願寺

みなさまからの「おそなえ」を真宗本廟（東本願寺）内ご本尊に「おそなえ」し、経済的に困難な状況にあるご家庭や、支援を必要とする子どもたちにお届けします。皆さまのご協力をお願いいたします。



期 間 3月9日（月）～4月13日（月）

対象物 お米、お菓子、乾麺、レトルト食品、調味料等の食品類、洗剤等の生活用品。

※食品類は、賞味期限が2026年5月18日以降のものをお願いいたします。

受 付 しんらん交流館1階ロビー

※郵送でも受け付けています。（送り先は下記まで）

【お問い合わせ】

〒600-8164 京都市下京区諏訪町通六条下る上柳町199番地
青少幼年センター（しんらん交流館内）

☎075-354-3440（平日9時～17時・火曜休館）



おてらおやつ
クラブ

能登震災ブース-災害につよい教団を目指して-

令和6年能登半島地震から2年3ヵ月が経過した今、被害状況や現状の写真パネル展示を行います。

期 間 4月1日(水)～3日(金)
時 間 9時～16時 ※3日は12時まで
場 所 境内白洲テント



家屋解体が進み更地が増えている輪島市内



新築された寺院(珠洲市/左が本堂)

能登教務所(現地災害救援本部)内に「真宗大谷派(東本願寺)ボランティア支援センター」を開設しています。

被災地におけるボランティア活動に関する情報の収集と提供、ボランティア活動参加者への支援を行います。

〒926-0816 石川県七尾市藤橋町テ9-1
 TEL: 070-1860-6010 (専用電話)
 FAX: 0767-53-0057 [能登教務所]
 E-mail: nvsc@higashihonganji.or.jp



「ボランティア支援センター」
ホームページ

宗派では「令和6年能登半島地震」の救援金口座を設置しています。
 皆様からの温かいご支援をお願い申し上げます。

【救援金口座】郵便振替口座番号 00920-3-203053

【加入者名】真宗大谷派

※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

◇境内各所にも救援金箱を設置しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

東本願寺オリジナル参拝証

御影堂の屋根をモチーフにした東本願寺オリジナルの切り絵参拝証です。
 真宗本廟(東本願寺)にお参りされた記念として、ぜひお受けください。

【懇志金】1,000円

【受付】境内懇志受付テントもしくは参拝接待所



表



裏

真宗本廟奉仕

真宗本廟には、全国から集う皆さんが寝食を共にし、親鸞聖人の教えを聞き、真宗門徒の生活を学ぶ聞法奉仕の施設があります。

同朋会館に宿泊し、聞法をとおして、かけがえのない“私”をたずねてみませんか。どなたでも参加できます。

お申し込み

【団体】1団体5名以上で受付します。

【個人】ひとりから参加できるテーマのある奉仕団

(おみがき奉仕団、報恩講奉仕団、お煤払い奉仕団など)があります。

・希望日の40日前までに同朋会館へご連絡ください。

・上山の1カ月前までに申込書をご提出ください。

冥加金

| 期 間 | 大人 (15歳以上) ※学生以外 | 学生・高校生 | 小中学生 | 団体園児 |
|------|------------------------|---------|--------|--------|
| 2泊3日 | 18,000円 | 13,500円 | 9,000円 | 5,000円 |
| 1泊2日 | 13,000円 | 9,500円 | 6,500円 | 3,500円 |

上記冥加金の他に、2泊3日の場合は米2kg(1升4合)または米代金1,300円、1泊2日の場合は米1.2kg(8合)または米代金800円が必要です(未就学児は免除)。
 ※7月1日より冥加金を改定します。詳しくは同朋会館ホームページをご覧ください。



納骨・帰敬式でのご参拝の際
 同朋会館に宿泊できます(要事前申込)



縁特設ページ

一納骨・帰敬式 同朋会館宿泊プラン

納骨・帰敬式でのご参拝を縁に、
 同朋会館での生活を体験してみませんか?

詳細・お問い合わせ

同朋会館 | TEL: 075-371-9185 (直通)
 研修部 | E-mail: dobokaikan@higashihonganji.or.jp

冥加金 1人:10,000円/小学生以下:5,000円(1泊朝食付)

詳細はホームページまたはお電話でご確認ください。

真宗本廟奉仕に関する
 情報を発信しています!



同朋会館
ホームページ



同朋会館
Facebook

研修部

☎ 075-371-9185

真宗教化センター しんらん交流館

しんらん交流館では、一年を通じて定例法話や日曜講演など、お念仏の教えにふれる法座を開いています。

館内には、仏教書籍をはじめマンガ・絵本などの一般書籍も取り揃えた図書コーナーや、展示を楽しめるギャラリーがあります。春の法要期間中は「お釈迦さまとその風景」展です。



公式
ホームページ

カフェ 「シュイロースト」

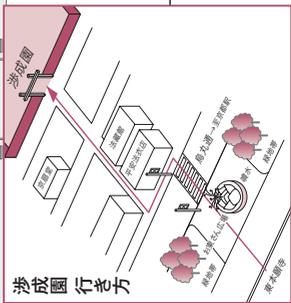
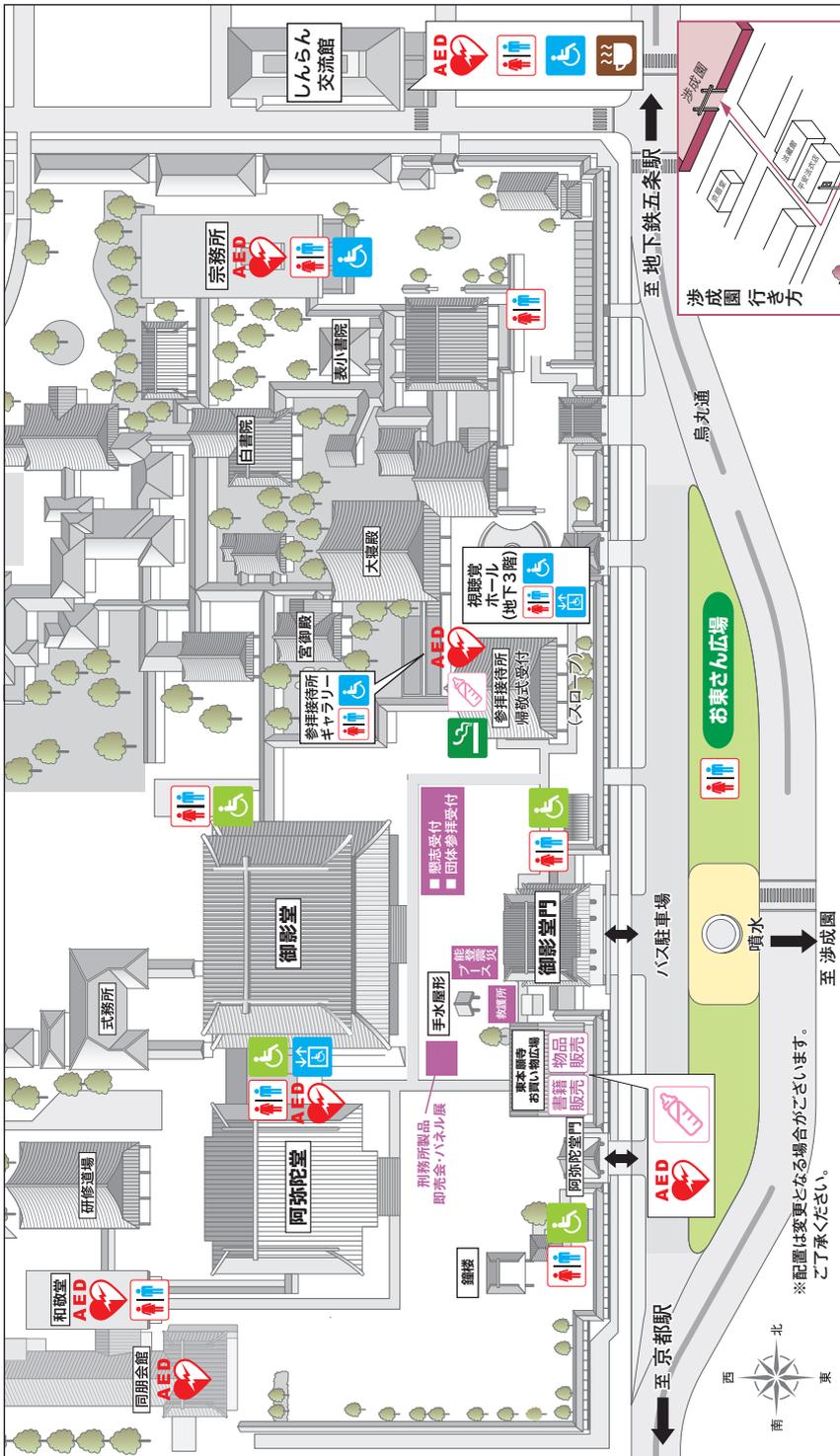
しんらん交流館1階東側に、カフェがオープンしました。京都美山産の卵を使用した卵料理を提供しています。法要や展示鑑賞の合間にぜひご利用ください。

営業時間 10:00～18:00
 定休日 火曜日



インスタ
こちら

真宗本廟（東本願寺）案内図



※配置は変更となる場合がございます。ご了承ください。

-  カフエ
-  喫煙所
-  車いす エレベーター
-  車いす トイレ
-  バリアフリー トイレ
-  トイレ
-  授乳室
-  AED 設置場所
-  物品販売 お土産や 記念品を販売
-  書籍販売 東本願寺出版の 書籍等を販売